



# 李政美いのち のうたライブ



心のまんなかからあふれだす言の葉が  
すべてのものに宿る音 つかまえてくるように  
真実の歌 生まれますように  
ほんとう

小さきものの悲しみ 弱きものの痛み  
傷ついた大地の上に きれいな花咲くように  
声よ 染みとおっていきますように

この声 がもつと深く響きますように  
この声 がもつと軽やかに踊りますように  
この声 がもつと自由に羽ばたきますように

あなたの心にそっと届きますように

「ねがい」作詞作曲 李政美

## 李政美 (いちよんみ/Lee Jeongmi)

済州島生まれの両親のもと、6人兄弟の末っ子として東京・葛飾で生まれ、歌が大好きだったアボジ(父)が歌う韓国歌謡曲を聞いて育つ。オペラ歌手を夢見て、民族学校から国立音楽大学声楽科に進む。音大在学中に朝鮮の伝統音楽、世界の民族音楽に興味を持ち、朝鮮民謡、フォークソング、フォルクローレなどを歌いはじめる。その頃発表した音源に「セヤセヤ(鳥よ鳥よ)」、「キムミンギを歌う」等がある。その後、子育て・充電期間を経て'94年に屋久島に住む詩人・山尾三省と出会い、彼の詩「祈り」に曲をつけて歌ったのをきっかけにオリジナル曲をつくりはじめ、現在はオリジナルを中心にジャンルを超えた幅広いレパートリーで、ライブ、コンサートを展開している。2003年には韓国・ソウルで初のコンサートを実現し、韓国の聴衆を魅了。心にしみとおる深く透明な声は、日本全国および韓国の根強いファンに支えられている。

最近では、フリージャズピアニスト・板橋文夫とのデュオや、朝鮮の民謡・童謡・歌曲・歌謡曲を編んだ「故郷の春コンサート」を成功させるなど、新たな境地を拓いている。

<http://leejeongmi.com>



## 矢野敏広 (やのとしひろ)

北海道網走市生まれ。中学時代にフォークソングの洗礼を受け、高校卒業後上京、ライブハウスを中心に活動を始める。1980年、朴保(パクボオ) & 切狂言(きりきょうげん)に参加。現在に至るまでギタリスト、マンドリン奏者として李政美、趙博(チョウバク)、盧佳世(ノカヨ)、キムドゥスと共にライブを行っている。2012年4月、ボーカルのnoburoと結成したグループ「うまかしゅう」として、CD「きらめく星座のように」を発表。2013年3月には、韓国の国民的歌手・張思翼(チャンサイク)の名古屋コンサートにおいてサポートを務め、ブルージーな矢野スタイルの真骨頂を発揮、絶賛を博す。

最近では、昭和歌謡を題材に、ソロ・ボーカリストとしても活動中。

<http://www.umacasyu.com/>



## 空色曲玉 (そらいろまがたま)

もとは米倉だった建物は、築130年。太い梁、板張りの床、白い漆喰の壁、3階までの吹き抜けが、とても落ち着ける。ここでは干し椎茸と天然昆布でとった出汁、地産地消の無農薬野菜と昔ながらの乾物を使ったおかず、雑穀ご飯の美味しいオーガニック料理をいただける。オーナー主宰の「明日のごはん」家庭料理教室、音楽や芝居のライブハウス、ギャラリーにもなるスペース。

<http://www.soratama.com/index.html>